



藍住町 議会だより

第 89 号

平成 29 年 5 月 25 日

藍住北幼稚園

3 月定例会

平成29年度一般会計・特別会計当初予算	P. 5
常任委員会 主な質疑	P. 7～8
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	P. 9～15
わたしの一言・議会のうごき	P. 16

発行●藍住町議会 編集●議会だより編集委員会 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

TEL (088)637-3127 FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

3月議会定例会が3月6日から22日までの17日間の会期で開会され、
下記の議案について審議しました。

石川町長は平成29年度の所信表明を行いました。

一般質問では7人の議員が登壇し、町政について質問しました。

3月定例会

～町長提案～

- 平成28年度藍住町一般会計補正予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(介護サービス事業)補正予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(下水道事業)補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町一般会計予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(介護保険事業)予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(介護サービス事業)予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(下水道事業)予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(水道事業)予算 原案可決
- 藍住町個人情報保護条例の一部改正 原案可決
情報提供等記録の訂正を実施した場合の通知先を追加するための改正
- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報
情報の提供に関する条例の一部改正 原案可決
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 原案可決
介護休暇の分割取得や介護のため勤務しないことが相当と認められる場合の介護時間の新設のための改正
- 藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正 原案可決
育児休業等の対象となる子の範囲を拡大するための改正
- 藍住町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 原案可決
国家公務員の特別職期末手当の改正に伴い、議会議員及び常勤特別職の期末手当の支給月数を引き上げる
ための改正
- 常勤特別職の給与に関する条例の一部改正 原案可決
- 職員の給与に関する条例の一部改正 原案可決
徳島県人事委員会勧告に基づき、配偶者に係る扶養手当を1万3,000円から6,500円に減額、子に係る
扶養手当を6,500円から1万円に段階的に増額するための改正
- 藍住町税条例等の一部改正 原案可決
- 藍住町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ... 原案可決
地域密着型通所介護が創設されたことに伴う改正
- 藍住町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに
係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正 原案可決
運営基準、配置基準等の改正
- 藍住町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な
支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正 原案可決
個別のサービス計画の提出や地域ケア会議に対する協力が義務付けられたことに伴い改正
- 藍住町消費生活センターの設置及び管理等に関する条例の制定 原案可決
設置や管理等に関する条例を制定
- 町道の路線認定 原案可決
- 町道の路線変更 原案可決
- (仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の請負契約の締結 原案可決

～議員提案～

● 副議長辞職の件	原案可決
● 副議長の選挙	平石賢治
● 議席の一部変更	原案可決
● 議会運営委員会委員の辞任	原案可決
● 議会運営委員会委員の選任	鳥海典昭
● 板野東部消防組合議会議員の選挙	森 彪
● 板野西部青少年補導センター組合議会議員の選挙	平石賢治
● 徳島県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	平石賢治
● 藍住町選挙管理委員及び同補充員の選挙	原案可決
● 議員派遣の件	原案可決

～報 告～

● 平成29年度藍住町土地開発公社の事業計画

放課後クラブ
小学校4年生から6年生までの利用拡大について、年次的に児童館の整備を進めており、平成29年度より奥野児童クラブ、富吉児童クラブ、西部児童クラブで募集を開始している。現在、住吉児童クラブの増築工事を進めており、10月頃より募集を予定。

観光交流資源魅力化プロジェクト
昨年、12月4日に開催した「インディゴコレクション2016」は大変好評で、今年度も「インディゴコレクション2017」として、10月22日(日)に開催予定。また、定期的なワークショップの開催も計画しており、「藍の魅力発信プロジェクト推進会議」では、「藍作復活プロジェクト」として、藍の作付が町内で見られるよう、耕作者の掘り起こしや奨励金制度の創設なども検討する。

石川町長の施政方針(概要)

これにより、高学年の利用拡大と併せて低学年の利用者増の対策にも一定の効果があるものと見込んでいる。

子育て支援

平成29年度保育所の定員は、昨年の514人から70人増やし584人としたが、53人が定員を上回っており、待機児童は27人となる見込みである。

待機児童対策として、「ニチイキッズあいずみ北保育園」に続き、新たに認可保育所をできる限り早く開設できるように進めたい。



4月に開設した「ニチイキッズあいずみ北保育園」

小学校のエアコン設置

平成28年度実施の電気設備工事は1月に完了。引き続き、平成29年度に空調機器の機械設備工事を夏休み

期間中に実施し、2学期から使用できるよう努める。

藍住北小学校が「全国環境美化教育優秀校」として表彰

藍住北小学校では、4年生が過去12年間にわたり、「正法寺川を考える会」の皆様のご協力とご指導により、正法寺川の環境学習に取り組んでおり、学校と地域が一体となった体験型環境学習が評価され表彰された。

勝瑞城跡整備事業

勝瑞城跡、見性寺南側の県道松茂吉野線沿いのテナントの土地については、濠からの浸食が見られるため、遺跡の保護・保存と景観の保全を目的として、国史跡への追加指定となるよう、平成29年1月に文化庁へ意見具申した。

国史跡へ追加指定された場合には、土地の公有化、さらに建物の撤去と景観の保全を進め、交通量の多い県道から良好な状態で史跡を望むことができるよう計画するとともに、併せて勝瑞城跡の周知拡大に努めたい。

防災対策

安全と安心を確保するため、地域防災計画とハザードマップの見直し作業も進めており、でき次第、町民の皆さんに配布する予定。大規模な災害に備え、避難訓練の実施や備蓄品、資機材の購入、充実なども引き続き進める。

空き家対策

現在、町内全域の空き家等の実態を把握するための現地調査を行っており、この調査に基づき、空き家等対策計画を策定し、空き家の除却や有効活用などの事業の推進を図っていく。

消費生活センターの設置

市町村の相談体制の充実を目標として、本町でも6月から、藍住町消費生活センターを農業振興センター内で開設できるよう準備を進めており、消費者のトラブル相談を中心に、高齢者等の見守りネットワークの構築・推進にも取り組むことで、町民の安全・安心が確保される体制づくりを行っていききたい。

新副議長決まる

3月6日の定例会において副議長の改選があり、副議長に平石賢治氏が就任しました。



副議長
平石 賢治

副議長の改選に伴い、一部委員会や組合議会などの改選が行われました。

議会運営委員会	委員	島海典昭
建設産業常任委員会	委員長	島海典昭
	副委員長	佐野慶一
(仮称)藍住町文化ホール・公共施設 複合化事業特別委員会	副委員長	安藝広志
板野東部消防組合議会		森 彪
板野西部青少年補導センター組合議会		平石賢治
徳島県後期高齢者医療広域連合議会		平石賢治

選挙管理委員及び同補充員の改選

平成29年4月23日の任期満了に伴う選挙管理委員及び補充員の選挙が3月定例会最終日に行われ、議長の指名推薦により次の方々が当選されました。
任期は平成33年4月23日までです。

〈選挙管理委員〉

鍋島 龍夫 氏
原 修平 氏
中吉 孝典 氏
赤澤 功司 氏

〈選挙管理委員補充員〉

沖野 勲 氏
産田 成治 氏
木内 茂 氏
佐藤 義住 氏

※補充員については補充順

徳島県町村議会議長会

会長表彰

2月24日、徳島県町村議会議長会第68回定期総会において、自治功労者表彰式が行われ、町村議会議員として25年以上在職の功労者として、森志郎議長・森彪議員が表彰されました。



森 彪議員



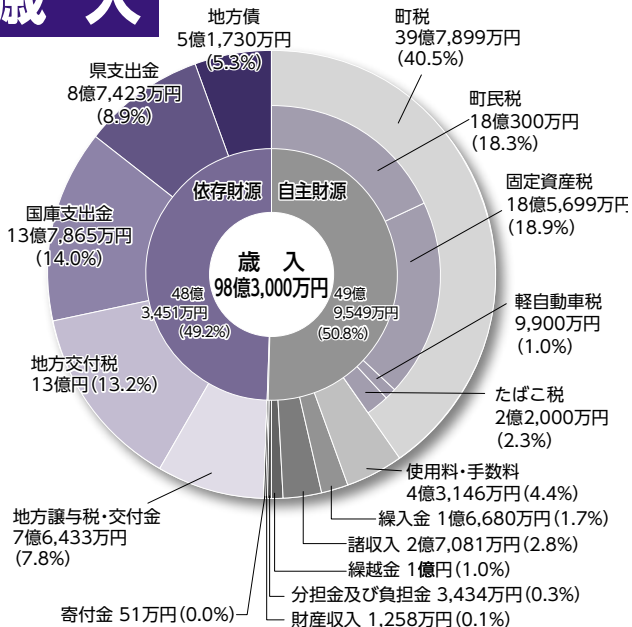
森 志郎議長

平成29年度一般会計当初予算

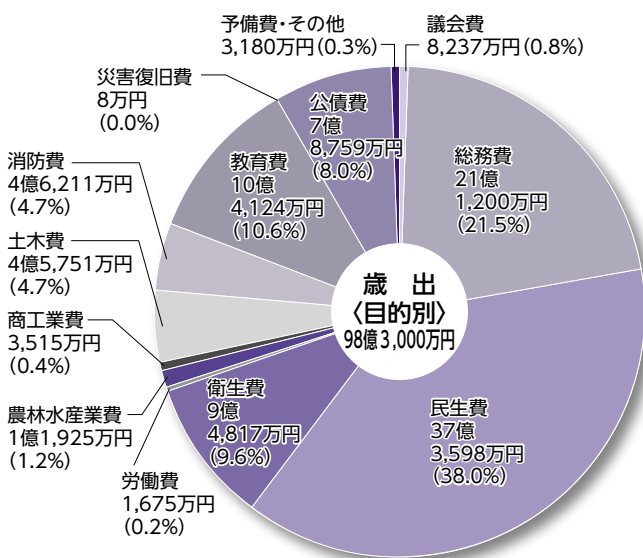
一般会計98億3,000万円を可決

前年度当初予算対比△22.1%

歳入



歳出



※ 1万円未満を四捨五入しているため合計額は一致しません。

一般会計の主な事業・新事業

(1万円未満切り捨て)

- 危機管理対策費 (備蓄品・資機材の整備、木造住宅耐震化支援など) 4,289万円
- 国民健康保険事業への繰出金 2億2,520万円
- 後期高齢者医療費(療養給付費負担金) 2億4,345万円
- 介護保険事業会計 3億6,000万円
- 障害者総合支援費 7億7,472万円
- 児童手当事業費 6億9,180万円
- 勝瑞放課後児童クラブ新築工事費 3,413万円
- 保育所運営業務扶助費 5億5,417万円
- 地域子育て支援センター等補助金 2,986万円
- 保育所整備事業補助金 1億4,147万円
- 予防接種委託料 8,954万円
- 子どもはぐくみ医療扶助費 1億7,928万円
- 西クリーンステーション管理費 4億4,286万円
- 中央クリーンステーション管理費 2億355万円
- 橋梁点検調査業務・鳴門藍住大橋橋梁修繕工事費 4,452万円
- 下水道事業会計への繰出金 2億円
- 常備消防費負担金 4億1,110万円
- 小学校空調機器設置事業委託料・工事請負費 1億2,669万円
- 勝瑞城館跡整備事業費 1億3,497万円

平成29年度一般会計・特別会計当初予算

会 計 名		予 算 額	前年度当初 予算対比
一 般 会 計		98億3,000万円	△ 22.1%
特 別 会 計	国民健康保険事業	39億3,400万円	4.4%
	介護保険事業	24億5,000万円	4.3%
	介護サービス事業	1,250万円	4.2%
	後期高齢者医療事業	3億300万円	5.4%
	下水道事業	4億3,800万円	△ 1.8%
	水道事業		
	収益的支出	4億9,857万円	10.0%
	資本的支出	1億6,456万円	△ 44.3%

平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

1億1,100万円増額

予算
総額

134億1,000万円

～主な補正の内容(1万円未満切り捨て)～

民生費

- ◆国保会計への事務費・財政安定分繰出金 1,131万円
- ◆基盤安定繰出金 2,390万円
- ◆国の地域介護福祉空間整備事業 817万円
(スプリンクラー設置事業補助金)

- ◆障害者総合支援費扶助費 8,600万円
- ◆保育所総務費 1,020万円
(認可保育所運営委託料)

商工費

- ◆経営革新創業者支援事業 130万円

平成28年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	2,300万円	39億8,800万円
介護保険事業	2,300万円	24億4,000万円
介護サービス事業	50万円	1,250万円
下水道事業	△600万円	4億4,000万円

定例会案内

次の定例会は6月です。
次号は8月に発行します。

本会議を傍聴しませんか

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

陳

情

1件の陳情があり、議員に配布しました。

▼平成29年度「給与所得等に係る市町村
民税・道府県民税特別徴収税額の決
定・変更通知書(特別徴収義務者用)」
への個人番号記載の中止を求める陳
情書

陳情者

徳島県保険医協会
理事長 古川 民夫

常任委員会 主な質疑

3月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。

主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

平成29年度

一般会計予算

老人福祉総合対策事業費

問 東部老人憩の家と藍翠苑ゲートボール場の1坪当たりの借地料は。

答 藍翠苑ゲートボール場の2面のうち、1面は買収済みで、1面が借地となっている。1月当たり平米単価75円で、固定資産税相当分を加算して契約をしている。

認可外保育施設入所

児童第3子助成金

問 対象者の人数は。

答 15名程度の予算措置をしている。

保育対策総合支援事業補助金

問 1億4146万5千円は新設保育所の補助金か。

答 新設される認可保育所の建設に伴う補助金で、総事業費の見積額は1億8862万円で、4分の1は事

業主が負担、4分の3は町が補助することになる。

各種検診委託料

問 検診対象者数と早期発見ができた人数は。

答 平成27年度では、胃がん検診1287名のうち2名、結核肺がん検診1551名のうち1名と、1名に疑いがあり、大腸がん検診1996名のうち1名、前立腺がん検診639名のうち3名、子宮頸がん検診1344名のうち1名、乳がん検診729名のうち5名であった。

問 不妊治療に対する補助は考えていないのか。

答 今後、十分検討していく。

意見 県下では多くの市町村が助成をしているので、早急に検討してもらいたい。

犬猫避妊・去勢手術 推進業務委託料

問 犬・猫の区別はあるのか。

答 犬・猫の区別はしていない。応募多数の場合は抽選となるが、獣医師会と1頭当たり5000円で契約しており、年間約30頭を補助している。



空き家対策基本計画等 策定業務委託料

問 2年間にわたっての事業とのことであるが、今後の基本計画は。

答 平成28年度は、空き家の数と空き家の状況を調査し、年度末には調査結果が出る予定。結果を受け、平成29年度に策定委員会を立ち上げ、空き家対策の基本計画を策定し、空き家をどうしていくかを決めていく。

問 現在、空き家は何軒あるのか。

答 委託業者からの中間報告によると、居宅以外に空き倉庫とか空き店舗になっている分も含めて、約440件。

西フリーステーション 管理費

問 アームロール車の購入は必要なのか。

答 購入から約15年が経過し、老朽化が進んでいるため購入する。

平成29年度 国民健康保険事業当初予算

療養給付金

問 ジェネリック医薬品活用への推進はどのようにしているのか。

答 全ての被保険者の方に使用促進のパンフレット等を送付して周知を図っている。

平成29年度 介護保険事業当初予算

滞納繰越分

問 介護保険料滞納繰越分があるが、介護保険料は年金から天引きされるのではなかったのか。

答 介護保険料は、原則65歳以上の方は年金天引きであるが、65歳に到達後、天引きが開始されるまでに、おおむね1年の期間を要す

るため、その間に未納となった分が滞納の主な原因である。

介護予防・生活支援 サービス事業費

問 給付の抑制対策として町の取組は。

答 町が開催している、いきいきサロンや介護予防教室の中で、健康運動指導士、理学療法士を講師として、運動指導を行っている。

介護予防事業費

問 平成29年度からは総合事業で行うとのことであるが、どのような事業を行っているのか。

答 現在、要支援1・2の方が利用されている介護予防事業の「訪問介護」「通所介護」が「通所型サービス」「訪問型サービス」となり、両サービスとも当面、現行相当サービスの提供をすることになっている。



建設産業常任委員会

平成29年度

一般会計当初予算

県営地盤沈下対策事業

負担金

問 いつまで負担金が必要なのか。

答 今年度で富吉土地改良区域内の工事は終了するが、来年度から新たに、井隈土地改良区域内の地盤沈下対策事業の調査が始まる。事業期間については未定である。

正喜地排水路新設工事

場所はどこか。

答 町道成長正喜地1号線沿いで、現在は水路として全く機能していない所の水路を新設する計画である。

中富団地エレベーター

修繕工事

問 エレベーターは故障しているのか。



町道の路線認定箇所を視察する建設産業常任委員

答 エレベーターの制御をしているマグネットブレーキが、長年の利用により劣化しているため、修繕が必要である。

問 中富団地には何世帯入居し、新規の受入れはあるのか。

答 176戸のうち入居戸数は92戸で、入居率は52%。新規の受入れはしていない。

総務文教常任委員会

平成29年度

一般会計当初予算

遮光電動スクリーン

取替設計業務

問 省エネ対策につながるのか。

答 汚れて変色もしており、モーターがきちんと動かないため設計をするもので、省エネ対策も含め検討したい。

公用車購入費

問 200万円でハイブリット車が購入できるのか。

答 小型の普通車1台の購入を考えている。

証明書コンビニ交付

システム保守点検

問 保守費用は、どのぐらいの予定なのか。

答 年間299万3760円。

問 町内のコンビニに設置されている機械の保守も含

まれるのか。

答 コンビニに設置しているマルチコピー機は、コンビニで保守点検をしている。

問 コンビニ交付の目的は、窓口業務の負担軽減だったと思うが効果は。

答 マイナンバーカードの交付率が低いため、前年より窓口業務が増えているのが現状である。カードの交付推進のために、今後も広報や窓口に来られた方に説明をするなど周知に取組、交付率を上げていきたい。

木造住宅耐震改修

事業費

問 耐震改修は、どのぐらいの頻度で進んでいるのか。

答 耐震診断を受けているのは507件、その中で耐震改修を行っているのは41件、本年度では9件であり、安全・安心なりフォーム支

援事業については25件で、そのうち本年度は2件。また、木造住宅住み替え支援事業は6件で、本年度は4件。耐震シエルター普及推進モデル事業は本年度2件。

改修となると費用が掛かるため、辞退する方もあり、なかなか進んでいない。

教育総務費

問 学校校医の内訳は。

答 校医26名、歯科医15名、学校薬剤師は4名。

放課後福祉連携

支援事業

問 どういう事業なのか。

答 発達障がいのある児童に対して、学校と放課後に通う施設との連携の取り方など、今後の研究のための事業で、県から委託された事業である。

洋式便器取替工事

問 学校トイレの洋式化の状況は。

答 小中学校で洋式化ができていないのは、全体の30%程度であるが、現在はエアコンの設置を優先的に進め

ており、エアコン設置の完了後、積極的に進める。

少年自然の家

利用補助金

問 各学校で補助金が違う理由は。

答 各学校の児童数によるためである。

勝瑞城跡南側・勝瑞館跡

南側土地購入費

問 どのぐらいの面積を購入するのか。

答 勝瑞城跡南側テナント部分の487㎡と、勝瑞館跡南側倉庫717㎡を購入予定である。

給食調理業務等委託料

問 材料費が値上がりをしているが、藍住町での対応は。

答 1食当たり、小学校では245円、中学校では270円で、平成11年から値上げはしていない。給食費の集金だけでは不足しているため、一般財源から負担をしている状況であり、引上げについては今後検討する必要がある。

高齢者福祉・交通手段の困窮対策

他団体の取組や財政面も含め研究する



徳元 敏行 議員

問 ①日常生活に必要な買物、通院のための交通手段に困っている独居、夫婦のみの高齢者に対する交通手段の支援策について、昨年9月議会で支援の方向性、対応策について質問したが、答弁の内容が乏しく支援策に対する考え方が見えなかった。支援策を検討するには時間が必要だと判断し、再問はせずに、対策を検討するように提言したが、その後、調査検討会は開催されたのか。

②第5次藍住町総合計画では、政策目標として、都市基盤の充実・地域公共交通対策の充実と掲げているが、これは全くやる意思のないことなのか。

③順次対策をするとのことであるが、どのような計画なのか。

早く調査研究を行い、で

きることから、実施してもらいたい。

答 ①会議については、開催していないが、高齢化が進展する中で、社会制度や生活環境の変化を含め、他の自治体の取組状況や財政面を考えながら、高齢者の通院や買物対策の行政の関わり方について、今後研究していく。

②他団体の取組状況、民間事業者の動向などを参考に、財政面も考えながら、研究していく。

③コミュニティバスやデマンドバスの導入、買物や通院等での路線バス、タクシー利用に掛かる助成、運転免許返納者等への電動車椅子、電動自転車などの購入助成など、様々な問題について研究する。



いきいきサロンの様子(乙瀬老人憩の家)

学習指導要領改訂案

状況に応じて柔軟に対応



永濱 茂樹 議員

問 文部科学省は14日、中学校の次期学習指導要領の改訂案を公表した。小学校高学年で英語を教科化、小中を通じて言語能力の育成や読解力を図るとし、改定策については、パブリックコメント・意見公募を始めた。

藍住町教育委員会としての教育理念は。

答 子供たちの発達段階に応じた適切な教育が必要と考え、幼小中の連携、また学校・家庭・地域が連携して藍住町総ぐるみで子供たちを育てることが大切であると考えている。



「花友会」活動の様子

ボランティア活動支援対策について 活動や功績に対して社会福祉協議会で表彰

問 連絡協議会加入グループは藍話サークル、音訳ボランティア、婦人会給食サービス、藍愛グループ、ゆうあいグループ、ハートあいずみ、おはなしにじの会、花友会、福祉スポレッククラブ、更生保護女性会、その他を含め47団体が活動している。行政としてボランティアの方々に対して、どのような施策を講じているのか。また、感謝状や表彰状贈呈規程は設けているのか伺いたい。

答 ボランティア団体の活動に関し、功績や功労に対して、社会福祉協議会で表彰規程を設け表彰しており、更に、その功労が顕著な団体等には、徳島県社会福祉協議会会長、徳島県知事、全国社会福祉協議会会長、大臣表彰などを受ける仕組みができています。

その他の質問

- 新年度・各校区、通学路、安全・防犯対策
- 交差点改良、交通渋滞緩和対策
- 道路、名田橋橋脚修復対策
- 学校・自治体・防災訓練にICT活用対策

防災対策について 感震ブレーカー設置の推進を図る

問 ①地震による電気火災から家・地域を守る施策として、感震ブレーカー設置の周知と、補助等の対策を講じていただきたい。

②昨年3月に避難場所災害を示す図号が追加された。防災標識の再確認として、町民に周知を。

③巨大地震発生時、本町の災害時の地域輸送拠点、整備対策を。

答 ①感震ブレーカーの設置は一定の効果があると考えており、引き続き広く周知に努め、設置の推進を図る。

②整備からの年数が余り経過していないため、表示板の変更はできていない。今後、できるだけ早い機会に変更を進めたい。

③本町では災害時の物資の保管、配送場所として、藍住中学校の駐輪場を予定している。この施設のほか予備施設として、災害協定により民間の倉庫等の借り上げについても、今後検討を進めたい。

学校施設の改善を早急に エアコン設置完了後、計画的に取り組む



林 茂 議員

問 ①小中学校のトイレ洋式化の現状と東中のトイレ洋式化率が11%と極端に低いのはなぜか。

②トイレの洋式化は生徒だけの問題でなく東日本震災の教訓から、乳幼児から高齢者、障がいを持った人々たちも利用できるトイレが求められている。トイレづくりに生徒を参加させること。洋式化に対する目標は。

③中学校でエアコン設置は生徒や教師から歓迎されている。小学校のエアコン設置で電気工事の入札結果と中学校の電気工事費より小学校の工事費が1千万円も安いのはなぜか。エアコン設置で小中の電気代増加額の見込みは。

④学校施設へ太陽光発電導入は文部科学省の方針である。町施設にも設置し電気代を節約すべきだ。

高校卒業するまで医療費を 無料にすること 県の補助金が拡大された場合は検討する

問 藍住町は県内でもいち早く中学校修了まで医療費の無料化を行い、子育て世帯から大変助かると喜ばれている。次は高校卒業するまで医療費無料化にすること。

答 県の補助金が拡大された場合は、高校修了まで補助対象者を拡大するか検討したい。

答 ①383基のトイレのうち、洋式化ができているものは113基、洋式化率は30%。

東中学校では、特別教室、部室は洋式化となっている。

②半分を洋式化にする予定だが、現在はエアコンの設置を優先しており完了後、計画的に取り組む。

児童生徒の参加について

は、他町の例を確認し検討する。

③実施設計に基づき工事を行っているが、原因については、分からない。

小学校4校の電気料金について約665万円程度の増加を予想。

④建物の強度や費用など、学校施設については教育委員会と協議していく。



藍住中学校のトイレ

その他の質問

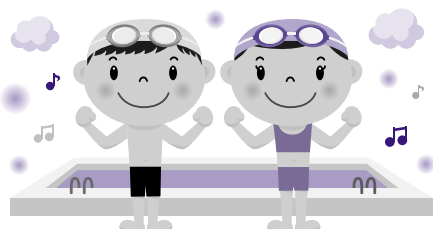
○指定管理者制度について

藍中プールは町民に開放すること 現在のところ考えていない

問 藍中プールの建設工事費は1億円超え、プールの耐用年数は30年。年間300万円程度の償却費となる。町の公有財産を遊ばすことなく町民の健康増進のために学校プールを町民プールとして有効利用すること。

答 管理・運営や、監視員などの安全確保も必要であり、現在のところは考えていない。

町内には民間の温水プールもあり、周辺の町にも温水プールがあるため、そういった施設を利用していただきたい。



発達支援のある児童生徒について

必要に応じ個別の支援計画を作成

問 ①発達障害は早期に気づき子供の発達に応じた支援をすることが大事と思うが1歳半健診、3歳児健診以外で保育園に行っていない家庭内保育を行っている子、また保育園、幼稚園、小学校の対応や体制は。

②発達支援は、乳幼児期から成人期まで切れ目ない一貫した支援が必要と思うが、就労をサポートするような取組は。

答 ①就学時健康診断において、知的発達スクリーニング検査を実施しており、各校・各園では、結果を保護者に伝達し、今後について話す場を設けている。

②障害福祉サービス事業所と連携を図り、一人一人の能力や意向によって、就労相談等の支援を行っている。

学校教育について

英語に対する関心が高まるよう努めている

問 ①学習指導要領の改訂に伴い、2020年度から小学校五、六年生で英語が正式教科となり、聞く話す中心の外国語活動は三、四年生に前倒しされるが、本町の取組は。

②児童生徒の携帯スマートフォンの上の1日の使用時間はどのくらいか。依存脱却に向けた取組は。

③不登校児童対策について、現在の状況と在宅不登

校にある子供はどうしているか。

答 ①平成5年から外国人1名を外国語指導助手として、小中学校に派遣しており、平成22年度からは2名体制とし、幼稚園にも派遣している。

②アンケートでは、5人に1人が3時間以上という結果となっている。

クリアファイルを作成し、その裏面にルールを決めて使用するよう呼び掛けをしている。

③小中学校合わせて42人。家庭訪問や電話連絡により接触の機会を増やし、関係者で情報の共有を図るよう取り組んでいる。



小川 幸英 議員

藍の魅力発信について

日本遺産認定を目指し、継続して申請する

問 ①本町や石井町など8市町が2月2日、阿波藍の栽培技術文化財などを日本遺産に申請した。認定されたときは、どのように取り組んでいくか。

②藍作復活プロジェクト、藍の作付が町内で見られるよう耕作者の掘り起こしや奨励金制度の創設などを検討することとであるが、具体的な取組は。

また小中学校での藍に対する取組は。

答 ①案内板等の設置を行い、関連市町間の連絡を密にし、藍の館をネットワークの拠点として、展示施設の改修や整備を進めていきたい。

②今後、奨励金の額を決定していく。

各小中学校では、藍の栽培や自分たちで藍建てをしてハンカチやソージユ等を染めるなど、藍の学習を行っている。



自分たちで育てた藍の一番刈りの様子
(平成28年度:藍住西小学校)

その他の質問

○ふるさと納税について

北千間堀沿線の水害対策について

基本的な方針を早い機会に検討



鳥海 典昭 議員

問 台風・大雨の度、広範囲にわたり道路や田畑の冠水、一部家屋の浸水被害が発生している。特に、勝瑞地区においては、東幼稚園、東小学校、東中学校の一部通学路となっており、地域住民の生活道路でもある。農作物にも多大な被害があり、農業収益の低下を招いているので、早急な排水路の整備、対策を講じてもらいたい。

答 ①平成23年度、平成24年度に町内の排水路の系統・能力等を調査し、現有排水路の有効な活用について検討をしているが、莫大な費用が必要で、対策の方針も示せていない状況である。

従来検討されてこなかった視点・観点からの検討も併せて実施し、基本的な整備方針をできるだけ早い機会に決定したいと考えている。

勝瑞城館跡地の活用について

多目的に利用できる公園施設の整備を検討

問 ①地方創生の一環として、遺跡発掘出土品等を示す歴史記念館の創設を要望する。
②発掘調査の今後の日程は、どのようになっているのか。
③東部地区にも、町民憩いの場として、また、災害時には避難場所として、多目的に利用できる公園施設の設営を要望する。

答 ①出土品を展示する施設整備は、今後検討していく。
②整備事業を目的とした発掘調査は平成29年度で終了する。今後、勝瑞の城下町における確認調査も継続して実施していく必要がある。平成40年頃まで計画している。
③勝瑞城館跡は、広大な敷地を有しているだけでなく、

く、微高地となっており、県が公表している津波浸水想定でも、浸水しない地域であることから、東部地区の一時避難場所に指定し、防災倉庫も備えている。町民憩いの場として、多目的に利用できる公園施設・避難場所として整備を検討する。



整備された勝瑞城館跡地

公共施設等の総合管理について

平成29年度末までにシステムを構築予定



西川 良夫 議員

問 インフラ、公共施設等は古い順番から次々に更新時期を迎えることになる。長期にわたり継続的に効率的、効果的に維持管理していくためには、個々の施設の規模や耐用年数、利用状況、人件費等のコスト、収益など詳細な情報を明確にして、作成した資産管理台帳のデータを基に、今後の更新状況や将来的な財政負担が明確になり安定したインフラ、公共施設等の運営ができる。公共施設等の詳細な維持管理状況について資産の保有状況、減価償却費等、新公会計制度導入に合わせて整備されてきたと思うがその状況を伺いたい。

答 平成29年度末までに、新公会計制度の構築を進めており、それに併せて、施設の状態把握や効率的な施設管理ができるよう、固定資産台帳管理システムについても構築を進めている。これにより資産状況、管理や運営の情報、財務状況、施設コスト等について、効率的な施設管理・運営に努めたい。

子供の遊び場確保について

子供たちが安心して遊べる環境整備に努めている

問 子供が日常的に体を動かすには、個人単位でも子供が集まって、手軽にかつ安全にスポーツや遊びができる広場等を各地域で整備する必要がある。更に、運動場、体育館などの施設を地域住民に開放することにより、子供や親子が気軽に安全にスポーツなどができるように、利用しやすい管理運営についても検討すべきだ。

また、各地で実施している放課後子供教室は、子供の安心安全な居場所として、地域住民の協力を得てスポーツやその他、多彩なメニューで無料開放されているが本町の見解を伺いたい。

答 各地域に自由来館型の児童館が8か所あり、児童館では、地区協の方々や地域住民の協力により、季節ごとの行事を行うなど、放課後子供教室に代わる取組を実施している。適切な遊び場や生活の場を提供して、子供たちが自由に、のびのびと遊ぶことができるように、公園や施設の整備に努めている。



児童館で遊ぶ児童たち(富吉児童館)

福祉・「子育て世代包括支援センター」 設置について

一体的に調整等を行う部署の設置を検討



西岡 恵子 議員

問 国は妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を実施する「子育て世代包括支援センター」の設置を平成32年度末までに地域の実情等を踏まえ全国展開を目指すとしています。

本町は様々な子育て支援事業等に取り組んでいます。が、課題解決、子育ての町藍住町を更に前進させるためにも早期の設置が必要です。

答 妊娠期からの子育てに関する様々な支援に取り組んでいるが、複数の課で対応しているため、連絡調整に時間を要することがある。

母子保健サービスや子育て支援サービスを一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援を行うことを目的とした、子育て世代包括支援センターの設置について、今後検討していく。

教育・ユネスコスクールの活動について

自主的に活動に参加したり、表現力が高まっている

問 平成24年に町内4小学校が地域の人々と連携し、伝統文化や環境学習、地域の農業等学んでいる点が評価されユネスコスクールに4小学校同時認定、そして先月2月7日、藍住北小学校の環境学習が認められ「環境美化教育優秀校」に選ばれました。ユネスコスクールの加盟で子供たちの変化、学習成果はいかがでしょうか。

答 先生方からは、「体験を通じて、藍染めや阿波踊りという伝統文化のすばらしさを理解するとともに、地域の方や高齢者の方と交流することにより、思いやりの気持ちや感謝の気持ちが育っている。」「リサイクル活動に取り組むことで、資源を大切にしようという気持ちが高まっている。」「また、「自主的に活動に参加したり、子供たちの間での関わりが増え、コミュニケーション能力や表現力が高まっている。」などが伝わってきている。

環境・ごみ問題について 今後ごみの減量化に努める

問 ごみは、燃やすと二酸化炭素や有害なダイオキシンが発生、埋めたごみからも有害な物質が流出、地球の環境や人間の健康に悪影響を及ぼします。持続可能な社会の構築には、ごみの減量化、リサイクルは必須事項、尚一層の取組を求めます。

答 ごみの減量化のため、エコバックや生ごみ処理容器及び電気式生ごみ処理機の推進について広報等で周知し、ごみの減量化に取組、リサイクル率も向上させていきたい。



缶の収集状況(西クリーンステーション)

わたしの一言

徳命 日浦 孝正さん

～花と緑と太陽の町～

私が藍住町の住人となり、あっという間に34年がたちました。その間の藍住町の発展ぶりは、今にして思えばすごいスピード感だったと思いますし、まだまだ発展の力が、朝通学している多くのお子様を見るにつれ、藍住町とともに未来が楽しいと、希望を感じる実感があります。30年前は平均年齢も若く、町自体もベッドタウンとして、みんなが仕事中心の毎日のように感じられました。しかしながら今は、子供たちの成長とともに、地域社会が柔らかくまとまり、今や三代目まで藍住に多くの方々が住まれ、医療、お店、工場、ありとあらゆる産業とともに充実した町になったと、一町民として誇らしく思います。

さて私の一言ですが、藍住町のキャッチフレーズであります、花と緑と太陽の町。空から見ても、車でおいでた方にも、「藍住町」だと思われるよう、花と緑をいっぱい増やしてほしいと思います。発展とともに、心の充実と癒やしと言いますか、将来どこの地区にも花が咲き乱れ、大きな木がいっぱいある。子供たちが、おじいちゃんおばあちゃんたちが、パパママ赤ちゃんが、その下で語り合う。素敵な充実した花と緑と太陽の町になってほしいと思います。



議会のうごき

2月

- 1日 徳島県市町村トップセミナー(徳島市)
- 3日 議会だより編集委員会
- 7日 議会全員協議会
- 8日 平成29年第1回臨時会
- 14日 議会運営委員会
- 16日 徳島県後期高齢者医療広域連合全員協議会(徳島市)
- 24日 板野郡町議会議長会定例会(上板町)
- 27日 徳島県後期高齢者医療広域連合定例会(徳島市)
- 27日 徳島県町村議会議長会定期総会(徳島市)
- 27日 議会全員協議会
- 27日 議会運営委員会

3月

- 6日 3月議会定例会開会
- 6日 議会全員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 厚生常任委員会
- 8日 建設産業常任委員会
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 中学校卒業式
- 14日 3月議会定例会一般質問
- 16日 小学校卒業式

4月

- 3日 教職員着任式
- 11日 小・中学校入学式
- 16日 板野東部少年少女消防クラブ発足式(北島町)
- 27日 板野郡町議会議長会定例会(松茂町)
- 28日 板野東部消防組合議会臨時会(北島町)
- 28日 議会だより編集委員会
- 22日 3月議会定例会閉会
- 24日 教職員離任式
- 28日 板野西部青少年補導センター組合議会定例会(板野町)
- 28日 板野東部消防組合議会定例会(北島町)



4月12日「よいニンジン」春ニンジンのPRの様子

編集後記

町議会議員の改選が行われて一年余りが経過し、新年度を迎えました。新社会人となられた皆様は、新しい職場で過ごされ、緊張の毎日で、苦労されていると思います。が、ゴールデンウィークでリフレッシュできたでしょうか。先輩社会人として、皆様に幸多かれと願わずにはいられません。私たち議員も心機一転し、議会活動に取組めます。

さて、いよいよ(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設が、着工の運びとなりました。私も、同事業の特別委員会の委員長として、新たな藍住町のシンボルとなるように提言をしていきます。

(奥村 晴明)

議会だより編集委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員
徳元 敏行	西岡 恵子	林 茂	鳥海 典昭	奥村 晴明